



むつみライブラリー (2017年5月)

おでかけ日和、本日和



— 新着図書案内 —

映画・テレビ・話題

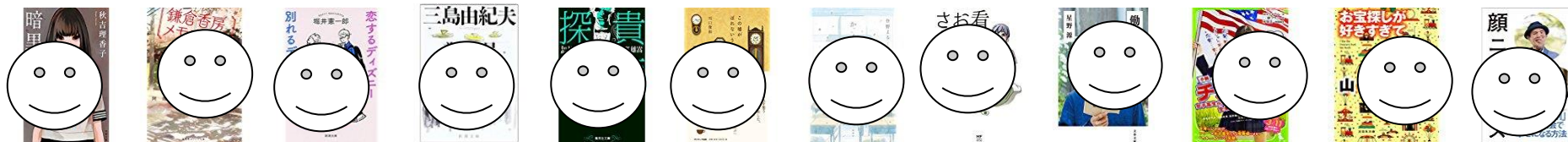
暗黒女子　みをつくし料理帖・八朔の雪　美しい星（三島由紀夫）　貴族探偵　炎路を行く者（守り人シリーズ）
働く男／そして生活はつづく（星野源）　君と100回目の恋　チアダン　ビブリア古書堂の事件手帖7

読み物

図書室のキリギリス（竹内真）　鎌倉香房メモリーズ（阿部暁子）　恋するディズニー別れるディズニー（堀井憲太郎）
この嘘がばれないうちに（川口俊和）　か「」く「」し「」ご「」と「」（住野よる）　お宝探しが好きすぎて（山田悠介）
彼が通る不思議なコースを私も（白石一文）　最後の晩ごはん・黒猫と揚げたてドーナツ（榎野道流）　がん消滅の罨（岩木一樹）
木もれ日を縫う（谷瑞恵）　きみのためにはだれも泣かない（梨屋アリエ）　ゼロの激震（安生正）

その他

看取りのお医者さん（コミックエッセイ）　化学者が美肌コスメを選んだら・・・　顔二モマケズ



◇ ◆◆◆◇わたしのおすすめ（司書・ほりえ） ◆◆◆◆「活版印刷三日月堂・海からの手紙」（ほしおさなえ）

小さな活版印刷所「三日月堂」が舞台のお話です、シリーズ第2弾。店主は若い女性の弓子さん、彼女の店には、なぜか秘めた想いを持った人たちが次々とやってきます。伝えたい言葉や気持ちとじっくりゆっくりと向き合い、名刺やカード、案内状を作ります。すると、一歩前へ踏み出す元気や勇気が湧いてくるのです。ところで、“活版印刷”って知っていますか？　グーテンベルクが発明したといえば、わかるかしら？　古くからの印刷技術で、“活字”（鉛のできた文字）を一文字ずつ拾い、組み合わせた版のどっぴりにインキをつけて紙に転写します。紙に圧力がかかるので、独自の凹凸ができ、1枚ごとの仕上がりに個性がでます。味わいがあるので、ヨーロッパでは根強い人気があり、日本でも見直され愛用者が増えているとか。

